



平成 30 年 9 月 3 日

## 平成 30 年度第 3 回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社) 日本物流団体連合会 (会長: 田村修二) は、8 月 28 日 (火)、物流事業の海外進出に関する課題について、官民連携して検討する今年度第三回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。会合には、国土交通省の伊藤国際物流課長を始めとする幹部や、会員企業から 18 人が参加した。

会合では、まず、日本貿易振興機構 (ジェトロ)・竹内 直生氏より、「ベトナムの最新投資環境について」と題し、同国の経済概況や日本企業の進出状況と投資環境評価、投資手続きの概要と実務上の留意点の説明が行われた。近年のベトナムの昇給率はアジアの中でも高水準ではあるが、中国・タイなどの先行国と比べると割安な賃金水準であり、成長性、潜在能力の高さを理由に、ベトナムでの事業拡大を検討している企業が増えているとの説明がなされた。

次に、国土交通省総合政策局 伊藤国際物流課長より、最近の国土交通省の国際物流政策の取組として、先月 18 日に韓国のソウル市で開催された「第 7 回日中韓物流大臣会合」の概要並びに主な協議内容の報告がされるとともに、本年 5 月から 6 月にかけて募集したシベリア鉄道による貨物輸送の利用促進に向けたパイロット事業の選定結果についての説明が行われた。

最後に、事務局より、今年度実施の海外物流事情実態調査 (インド) に関し、日程並びに、現在、検討を進めている行程案についての報告が行われた。

本ワーキングチームの活動は、今年度も、物流連の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めるとし、次回は、10 月下旬の開催を予定している。

以上  
事務局 中川

## 会合全景



説明する日本貿易振興機構 竹内直生氏



説明する国土交通省 伊藤博信課長

